

【巻頭特集】

ビーバルだったらこう選ぶ!

アウトドアの仕事が多い

ニセコ町 (北海道)

日照時間が日本一

北杜市 (山梨県)

シェルパ斉藤のオススメ

南阿蘇村 (熊本県) ...etc.

発表!

自然派が暮らしたい町100

BE-PAL

JUNE

6

ビーバル

NATURE & OUTDOOR LIFE MAGAZINE

NEW & HOT!

全世代アウトドアズマンの憧れ

「BE-PAL流 キャンピングカー大全」
発刊記念大特集

キャンピングカーを 手に入れる!

自由な旅のお手本!
日米豪欧・オーナー
直撃レポート

本誌厳選!
最新10モデルの
価格・間取り・燃費、大解剖!

アンダー10万円で
愛車を車中泊仕様
にする方法

ご予算
200万円台
からの



緑の野山を満喫する **ファミリーハイキング入門**

オトナのアロハシャツ正しい着こなし術

フィールドナイフ列伝 **テンカラ名人の鉈**

釣り

移住・セカンドハウス・ロングステイなどスタイルはあなた次第!

巻頭
特集

自然派が 暮らしたい、町

The Best Place to Live for Naturalist

100

空き家、水質、
土壌、日照時間、
文化・人・エネルギー、
徹底調査!

東京に暮らす20~40代のなんと50%以上が、「地方移住してもよい」と思っているという驚愕のデータも出た昨今、日本は民族大移住時代に突入か!? ここは地方取材30余年、われらビーパルの出番だ! もしもあなたが移住するとしたら? 失敗は許されない! 人生の意味と家族の未来を考える、本誌初の移住大特集!

田舎暮らしに必要なのは丈夫な肝臓です!?

移住の先達座談会

BE-PAL 読者



まず、読者を代表して、移住に成功した4名の方に集まっていただきました。ひとことで移住といっても、通勤圏内移住、週末移住、転職移住などスタイルはさまざま。座談会には、実際に住んだ人しかわからない「なるほど」「エピソードが山ほど。移住希望者必読です!」



林田一樹さん(57)
 会社員(システムコンサルタント)。東京都西東京市から長野県井ノ口町へ。老後は絶対田舎に暮らそうと考え、2008年、ローンを組めるぎりぎりの年齢で中古物件を購入。



↑南軽井沢の別荘地。「中古別荘は掘り出し物が多い!」。業者には頼まず、水道管・テレビアンテナの補修まですべてDIY。

リタイア後の完全移住に向けて 週末田舎暮らし

鈴木 じつは僕はまだ移住していません。千葉県印西市にこの7月からログハウスを建てて11月に完成する予定です。
一同 おおーっ、ログハウスノ鈴木 長野県や山梨県への憧れもあつたけど、定年まであと8年、今の仕事は続けていきたい。だから、東京の通勤圏で、かつ田舎っぽさを味わえるところを条件に探しました。皆さんは仕事をどうされているのですか?
林田 私も東京でサラリーマンやっています。7年前、長野県軽井沢町の中古の別荘を買って週末だけ田舎暮らしです。完全移住は、定年後、今中学3年生の子供が独立してからですね。
香野 僕は4年前、転職して栃木県塩谷町に移住しました。廃校を活用して宿泊施設を運営しているNPO法人が、住み込みの管理人を募集していたんです。「観光がてら面接に行ってみない」と、妻を半分だましましたよ。一方は別として、田舎暮らしで一番大切なって仕事があるかどうかですね。どこでも食べていけるような手に職を持つ

ているか、その移住先に満足できる仕事があるか。住むところは、家を建ててもいいし安い家を借りてもいいし、選択肢は多いのでなんとでもなると思います。
早田 たしかに私も仕事がなくつたら移住に踏み切れなかったでしょうね。もともと大阪の会社に勤めていて、西日本各地を転勤で回っていたときに宮崎県都城が気に入りました。こういうところに住みたいな、子育てしたいなって。それで職場の企業で仕事を探して転職と同時に移住しました。15年前のことです。
家の中がもらいもののネギだらけになる!
鈴木 実際に暮らしてみても、想定外のことってありますよ?
林田 誤算は運転代行代! 車がないと飲み屋さんに行けないから仕方ないけど、飲み代の2倍、3倍も払わなければならぬいなんて(泣)。
香野 田舎はどこへ行くにも車がないと動かせませんよ。だから

ら、天気の良い日にビールが飲めないのがつらい。飲んだら子供を迎えにも買い物にも行けなくなってしまうから。
林田 田舎暮らしというイメージから酒を飲むというイメージがあります。それは幻想でした(笑)。とにかく日中はやることが多い。庭の落ち葉を集めたり、家の補修をしたり……
香野 サラリーマンのときの忙しさと種類が違うんですけどね。畑を借りたら晴れているうちにやらなければいけないことがあるし、なんかしら用事がある。
林田 でもその忙しさが楽しい。工具やら農具やらチェーンソーやらがどんどん増えていって。移住する前は年に50泊以上キャンプをしていたのですが、激減しましたよ。
鈴木 毎日キャンプしているのと同じってことですか?
林田 薪ストーブなんて焚き火みたいなものですかね。
早田 私の場合は、子供たちと頻繁にキャンプに行きましたし、庭でのんびりする時間もけっこうありましたよ。というのも、



香野哲夫さん(40)
 NPO法人職員。新潟県新潟市から栃木県塩谷町へ。前職は建設会社で建築設計をしていました。2010年、転職と田舎暮らしという二つの希望を同時にかなえた。



↑管理人を務める「星ふる学校「くまの木」(問☎0287(45)0061)。元用務員室に家族5人で暮らす。家賃は0円!

自然の中で仕事がしたい 完全転職移住

←当初は雇用促進住宅に入居したため移住費用はほぼゼロ。1年後に家を建てた。



←家からは桜島の噴煙も見え、現在新たな仕事の関係で東京にも拠点を置く二重生活中。

半田舎だから仕事も豊富 地方の大都市移住



早田雅彦さん(45)

団体職員。広島県廿日市市から宮崎県都城へ。移住前は建設会社社員で、数年ごとに転勤で各地を転々とする生活だった。2000年、都城市の会社に転職すると同時に移住。



田舎暮らしといっても、私が住んでいるのは適度に田舎で適度に都会なところなんです。自然はいっぱいあるけれど、山の中ではない。会社が車で10分の距離だから自分の時間がたっぷりあるんです。
鈴木 僕の狙いがまさにそれ。駅前にはニュータウンで、シネコンやショッピングモールもあるけどちょっと離れると畑ばかり。田舎暮らしができる都会で暮らしてみようと思ったんです。家内もそれなりたいかもっていつています。ただ虫の心配はしていますが……。
林田 女性は虫が苦手な人が多いからなあ。うちも最初は家の中をカマドウマが歩いているのを見て大騒ぎしていましたけど、だんだん慣れてきたみたい。
鈴木 近所づきあいは難しくないですか?
香野 田舎に対するイメージどおりでした。よく、野菜がもらえるとかいうじゃないですか。本当にもらえるんですよ。ただ、その量がはんぱじゃない。ネギなら肥料袋に何十本も入れたのをドンッ。食いきれるかなと思っていると、次の日に別の方が同じぐらいの量を(笑)。
林田 そうそう。畑に呼び出されて車で行ったら、トラクタと後部座席に白菜を一杯詰め込んで、「持ってけ!」嬉しんですけど、途方に暮れる(笑)。
鈴木 そういふのって何か返さなきゃいけないんですか? 貰いっばなしというわけにはいか

なさそうだし……。
早田 気にしすぎるとアレッシヤーになっちゃうですよ。
香野 ですよ。僕は次に会ったときもお礼はいうようにしています。だけど、毎回お返しはしないですね。ありがたく敬意としていただき、たまに実家に帰ったときとかに「僕は仙台なんです、『萩の月』を買って差し上げたりするぐらいです。
1週間お試しで滞在してみても?
早田 コミュニティーとの距離感自分なりにいいのではありませんか? 油や砂糖を借りに来るといのが実際にあって、そんなふうに思っているのかというのがすごく嬉しかった。それに子供が5人ともいるので、いろいろおさがりをもらえるんです。「いらなかつたら捨ててね」と。田舎の緊密な人間関係はいいとも悪いともいえるわけで、問題は自分に合っているかどうか。都会と田舎がちよどまざったぐらいの都城のコミュニティーが私には心地よかつたんです。
鈴木 そういったコミュニティーにどうやって入っていったんですか? 入り口は?
早田 入り口は職場でした。
林田 私は飲みから。地元の方しか来ないような飲み屋を見つけて、そこから人間関係が広がっていきました。

香野 僕は子供つながりですね。子どもが3人いて、移住したときは上の子が5年生、一番下がまだ2歳だったのですが、すごい喜ばれて大事にされました。僕が行く前はその集落には子供が2人しかいなかったんですよ。それで、子供が参加するお祭りが復活したりして、コミュニティーに自然に入れました。あと、消防団に入ったことも大きかったです。同年代には一気に入れられましたね。
林田 要はその土地の人と適応できるかどうかですよ。お酒が入り口になる私のようなタイプなら、必要なのは丈夫な肝臓(笑)。移住を考えているなら、お試しでその土地に1週間とか滞在してみて、地元の人と自分がなじめるかどうかをみてからのほうがいいんじゃないかな。
早田 変化を楽しめる心と奥さんの価値観の共有も、移住には大事だと思います。都会とはまた違ったいろいろなことが田舎では起こりますからね。
香野 楽しめるって大切。たとえば田舎だとマニュアルの軽トラに乗る機会が多いけど、そのときにマニュアル運転を楽しめない人は田舎暮らしはストレスのほうが多いかもしれません。
鈴木 それと、いろいろ不安はあるけど移住してから考えればいいやっという割り切り。僕も「田舎に行かなくても、田舎っぽい生活はできるよ」の一念で実現させました。考えすぎると動けなくなってしまうですよ。

会社を辞めずにちょっと田舎へ 通勤圏内移住



鈴木裕樹さん(52)

会社員(派遣業)。東京都大田区から千葉県印西市へ。昨年体調を崩し、「やりたいことをやらなく」と生き方を考え直したのがきっかけ。今年11月にログハウスが完成予定。



←移住地の周辺にはスキヤキ畑が広がる。大好きなオリーブの木を庭で栽培する予定です。

←BESSの新型「GLO」を建設する。土地、建物合わせて約3500万円。

都市への人口集中と地方の高齢過疎化。現代の日本が抱える二大課題を同時に解決しうるムーブメントとして注目されているのが地方移住だ。蓄財よりも、出世よりも、自然に寄り添って暮らせば十分幸せと感じられるアウトドア派にとって、注目の5大聖地を紹介しよう！

お金より、出世より、人間らしい生き方

大移住時代の始まりだ！

移住者ウエルカムな

田舎取材30年！のライター・かくまつとむさんが選ぶ
オーラの出ている町

第1位 **ニセコ町** (北海道)

BEST 5

GNH(国民総幸福度)のモデルは地方にあり！

30年以上に及ぶ取材生活の9割は田舎という地方通本誌の人気長寿連載「ゲンキな田舎」が、今号から「オーラで行こう」に新展開。



かくまつとむさん

世界が憧れるアウトドア天国
スケール大きな職遊隣接生活



ニセコのパウダースノーは、世界のスキーヤーやスノーボーダーからも注目されている。別名東洋のサンモリッツ。登山も人気だ。

東に国立公園羊蹄山。北には国定公園ニセコアンヌプリ。町の中央を流れるのは、かつて日本一水のきれいな川に選ばれたこともある尻別川だ。この自然環境を生かし、冬のスキーにとどまらず、夏の川遊び、山登り、保養と、通年型の国際リゾートに成長をとげたのがニセコ町である。



夏の定番はカヌーやラフティング。外国人利用も多いので、ガイドのできる素養があり、語学の堪能な移住者なら即戦力だ。

アクティビティには事欠かず、関連産業も多いこのエリアは、職遊隣接の暮らしを模索している移住希望者には適地だろう。産業の柱は観光だ。ニセコの魅力を最初に世界に発信したオーストラリア人に加え、最近ではアジア圏からも観光客が増えている。海外からの年間の来訪者は10万人を超える。アウトドア好きで語学の堪能な人材はホテルの接客業務要員などとしても重宝されている。インストラクター系の求人もしばしばある。自治体ぐるみの温暖化対策などが評価され、国の環境モデル都市にも選定された。移住希望者が多いため、居住物件が慢性的に少ないのが唯一の難点だ。

第2位

海士町 (島根県)

起業家志向の移住者たちが支える
いま最も元気の過疎の離島



起伏の激しい島の主要産業は漁業と牧畜。最も人気のあるアウトドアは釣り。シーカヤック派にとっても天国のようなところ。



移住者と地元の人と一緒に高級ブランドに育てた岩ガキ。今では他の追随を許さないプレミアム食材として知られる。

日本海に浮かぶ隠岐諸島の中ノ島。そこが今、日本で最も注目されている自治体、海士町である。住民約2400人のうち、じつに1割以上が若い移住者。漁業や畜産、加工業の担い手となる人材ばかりでなく、外貨を稼ぐためのマーケティングや流通、将来の人材を育てる教育事業に携わる移住者もいる。起業のモデルを研究したい、地域活性化について学びたいという人生修業の若者も多い。海士町の名を一躍高めたのは教育政策だ。町官の学習塾と高校が足並みをそろえ、多彩なゲストを招くなど、学力だけでなくコミュニケーション力を重視した実践教育を行なう。高校では島外から留学生も受け入れている。こうした異文化交流が双方の刺激になり、かつて1人いればよかった国公立大学の合格者が、今では3割にも達する。

第3位

糸島市 (福岡県)

価値観の同じ人たちが続々と移住。
ほどほどに便利な心安らぐ田舎

福岡市内から車で約40分。きれいな海も、山もあって遊びに困らない。コメ、野菜、新鮮な魚、肉、そして牛乳まで地元産で揃う。福岡市内のアーティストや自然派が、かつて隠れ家のように寛いでいた地域が糸島半島だ。センスのよい工房や店舗が増えるにつれ、地域全体に磁気のような力が生まれ、人を吸



糸島のきれいな海にほれ込み「またいちの塩」という自然塩を作る工房とったん。花塩プリンが人気。塩作り体験も行なっている。

第4位

南丹市 (京都府)

移住者受け入れの西の先進地
合併でさまざまな暮らしの選択が

南丹市は06年、京都府北部の4つの町、園部、八木、日吉、美山が合併して誕生した自治体だ。美山、日吉は30年近く前から田舎暮らしを志向する関西の人たちから注目されてきた。中でも茅ぶき民家で有名な美山地区は聖地的な存在だ。



70年代から定住者を受け入れてきた南丹市北部の美山地区。

商業施設もある園部、八木エリアは京都市内の通勤圏。市では、今年度から定住促進事業として、空き家バンクを通じた賃貸物件の斡旋や、住宅地の販売に本格的に乗り出す。

第5位

鴨川市 (千葉県)

帰農派もサーファーも注目。
関東最後の桃源郷

青い海がすぐ後ろは陽光が燦爛と降りそそぐ里山。サーファーも釣り人も、自給的な農業を目指す人も、一度訪ねたらほれ込んでしまふのが、房総半島南部の鴨川市だ。大地を守る会創設メンバーの故・藤本敏夫さんと、妻で歌手の加藤登紀子さんが創設し



海、山、里がほど近い距離にある鴨川。写真は大山千枚田。

た農業塾、鴨川自然王国もこのエリア。移住者誘致にも熱心で、空き農地や空き家の情報、各種相談にワンストップで乗っつけてくれる「鴨川市ふるさと回帰支援センター」もある。



発表! **BE-PALが選んだ 自然派が住みたい町 BEST100**

アイコンの見方 窓を手に入れやすい 日照、水、土に恵まれている 遊べる自然がある ネット環境が良い 歴史・文化がある シェルバ斎藤がおすすめする村

お待ちはね! ここからはいよいよベスト100の発表です。日本を9つの地域にわけて、それぞれの地域でランキングを作成しました。あなたにぴったりの移住先を見つけてください。

どのようにしてベスト100を選んだか

まずは以下の情報をもとに、市町村を200ほどピックアップして暫定リストを作成した。

- ・「ニッポン移住・交流ナビ」などの公的な移住支援サイト
- ・気象庁などによる観測データ
- ・都道府県が発行している移住促進パンフレット
- ・各市町村のHP
- ・田舎暮らし、移住をテーマにした雑誌や新聞の記事
- ・読者移住したい人、した人へのアンケート

次に編集部と特選スタッフで、どうしてもはずせないという、以下の5つの条件を選び出した。

- 1 家を手に入れやすい
- 2 日照、水、土に恵まれている
- 3 遊べる自然がある
- 4 ネット環境が良い
- 5 歴史・文化がある

「交通の便」を入れるかどうか迷ったが、自然派であれば、アクセス面をどこに住みたい人もいろいろあり、現代はインターネットでタレントに世界につながる時代であり、リアルな交通はそれほど重要ではない、という意見もあって、はずさずにした。

この5条件に沿って市町村を100に絞り、最後に1条件の満点と20点として、計100点満点で満点を20点としてランキング化した。

特選移住を取りあげるのは本誌でも初めて。異議反論があれば投稿を、次回につなげたいと思います。

移住相談のワンストップ窓口あり

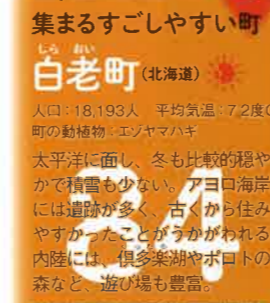
2位 幌加内町 (北海道)

人口: 1,630人 平均気温: -5.5度C
町の動植物: ナナメカ
移住についての窓口が1か所に集約されていて便利。住宅建設助成金制度もある。日本一のそば生産地なので「そばそば打ち」という人におすすめ。朱鞠内湖ではワカサギやイトウが釣れる。



3位 白老町 (北海道)

人口: 18,193人 平均気温: 7.2度C
町の動植物: エゾヤマハナキ
太平洋に面し、冬も比較的穏やかで積雪も少ない。アロヨ海岸には遺跡が多く、古くから住みやすかったことがうかがわれる。内陸には、倶多楽湖やボロトの森など、遊び場も豊富。



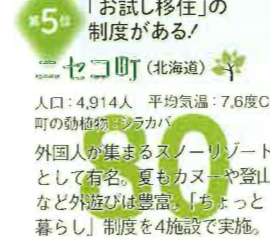
4位 浦河町 (北海道)

人口: 13,160人 平均気温: 7.9度C
町の動植物: エタカヤマギソウ
白老町同様、比較的温暖で通称「北海道の湘南」。内陸部には、神威岳などの高山脈の山々が連なり、自然が濃い。



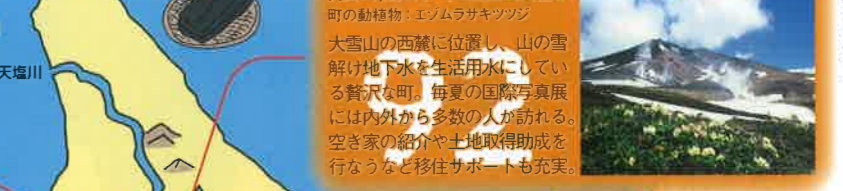
5位 二セコ町 (北海道)

人口: 4,914人 平均気温: 7.6度C
町の動植物: シラカバ
外国人が集まるスノーリゾートとして有名。夏もカヌーや登山など外遊びは豊富。「ちょっと暮らし」制度を4施設で実施。



1位 東川町 (北海道)

人口: 7,857人 平均気温: -6.1度C
町の動植物: エゾムラサキツツジ
大雪山の西麓に位置し、山の雪解け地下水を生活用水にしている特異な町。毎夏の国際写真展には内外から多数の人が訪れる。空き家の紹介や土地取得助成を行なうなど移住サポートも充実。



6位 アイヌ語で「静かで平和な上流の町」

6位 占冠村 (北海道)
人口: 1,193人 平均気温: 4.6度C
町の動植物: ヤマザサ
釧川の上流に位置し、面積の94%は森林。新千歳空港から電車で1時間。札幌から車で90分。「ちょっと暮らし」制度あり。

7位 一戸建てを1~3年提供してくれる 蘆戸町 (北海道)
人口: 3,089人 平均気温: 5.2度C
町の動植物: タマゲラ
常呂川の上流に位置。面積の8割が森林で林業が盛ん。「親子山村留学」(1~3年)で、一戸建て住宅を無償提供。

8位 ソーラン節の故郷 気候もよい 積丹町 (北海道)
人口: 2,327人 平均気温: 7.5度C
町の動植物: エゾヤマザサ
積丹半島の先端、ニジシロ漁で栄えたソーラン節発祥の地。海洋性気候で比較的温暖。毎年1~2組の移住者あり。



※文字の下の数字が点数です

4位 散居村と合掌造り、独特の景観を誇る
南砺市 (富山県) 開
人口: 53,582人 平均気温: 13.1度C
町の動植物: ヲウゴン
能登半島の先端にあり、本州の市のなかで一番人口が少ない。金沢大学と連携して「里山里海マスター育成プログラム」を実施している。能登半島の就農、就業を手助けしている。

5位 日照時間が長く、水も清らか
北杜市 (山梨県) 開
人口: 48,297人 平均気温: 10.9度C
町の動植物: オオムラサキ
八ヶ岳の南面、日当たりがよい。日照時間は全国トップクラス。有名な白州の天然水など、清らかな水資源にも恵まれている。

6位 2つのアルプスに挟まれた美しい町
伊那市 (長野県) 開
人口: 69,594人 平均気温: 11.3度C
町の動植物: ライチョウ
南アルプスと中央アルプスに挟まれ、天竜川が流れる。城跡で有名な旧高遠町も市内。移住支援サイト「伊那に住む」が充実。

7位 アマゴやアユを釣る放題
郡上市 (岐阜県) 開
人口: 44,158人 平均気温: 12.5度C
町の動植物: アユ
城と湧水と郡上おどりで知られる人気タウン。郡上八幡を中心とした市。長良川の上流域に当たり、アマゴやアユの宝庫。

9位 都会も自然も両方好きな人へ
静岡市 (静岡県) 開
人口: 703,937人 平均気温: 16.5度C
町の動植物: タチアオイ
海辺の印象があるが、南アルプス間ノ岳まで市域に含む。大井川、安倍川など川にも恵まれる。気候温暖。家康関連史跡も豊富。

11位 町のいたるところで、湧き水がゴボゴボ
入善町 (富山県) 開
人口: 25,957人 平均気温: 14.2度C
町の動植物: チューリップ
黒部川の伏流水が町のいたるところで湧き出す名水の里。豊富な水を活かした米どころでもある。空き家バンク制度も活発。

大学と連携して人材を育成
3位
珠洲市 (石川県) 開
人口: 15,773人 平均気温: 12.9度C
町の動植物: ヲウゴン
能登半島の先端にあり、本州の市のなかで一番人口が少ない。金沢大学と連携して「里山里海マスター育成プログラム」を実施している。能登半島の就農、就業を手助けしている。

山の展望に恵まれた県庁所在地
2位
甲府市 (山梨県) 開
人口: 192,601人 平均気温: 14.7度C
町の動植物: カウセキ
全国で最も日照時間が長い山梨県のなかでも、日照時間は上位。市内を荒川が流れ、八ヶ岳や南アルプスの展望もすばらしい。武田信玄ゆかりの史跡も多い。新幹線で特急で1時間40分。

外国人も多いよ
白馬村 (長野県) 開
人口: 1,000人 平均気温: 10.0度C
町の動植物: オオムラサキ
ベタな選択だけれど、アウトドア好きにとっては垂涎の村だ。世界各国から外国人が訪れるし、居心地がいいお洒落なカフェもたくさんあってリゾート感覚の田舎暮らしが楽しめる。

メガネの町はITの町でもある
8位
鯖江市 (福井県) 開
人口: 68,812人 平均気温: 14.5度C
町の動植物: カマツキ
日本一のメガネ生産地。また「データシティ鯖江」を掲げ、無線LANを整備するほか、市の情報のオープンデータ化を進める。

祝・新幹線開通！住宅支援も手厚い
10位
飯山市 (長野県) 開
人口: 21,725人 平均気温: 11.0度C
町の動植物: オウゴン
北陸新幹線飯山駅が開通され、注目される。お試し移住用住宅のほか、移住・定住住宅建設費(最高150万円)補助もあり。

中部
[15市町村]
富山県 石川県 福井県 岐阜県 山梨県 長野県 新潟県 群馬県 埼玉県 茨城県 東京都 千葉県 神奈川県 静岡県 愛知県 三重県 滋賀県 奈良県 和歌山県 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 高知県 福岡県 佐賀県 大分県 熊本県 鹿児島県 沖縄県

日照時間が長く、山も近い
1位
上田市 (長野県) 開
人口: 163,651人 平均気温: 11.9度C
町の動植物: ツツジ
富平高原と美ヶ原高原に挟まれた盆地だが、晴天率は高く、日照時間は長い。「歩いて5分圏内に新幹線駅、ショッピングセンター、千曲川の河川敷が揃う。欠点が多すぎない」(移住者)

雪国ならではの美しい里山風景
13位
津南町 (新潟県) 開
人口: 10,389人 平均気温: 10.6度C
町の動植物: ヒマワリ
苗場山の南麓、東西に信濃川が流れる。秘境、秋山郷も町内。隣の十日町市とともに「越後妻有大地の芸術祭」が開催される。

南信州の山間地。面積の88%が森林
14位
売木村 (長野県) 開
人口: 660人 平均気温: 12.8度C
町の動植物: ツツジ
町名のとおり森林資源が豊富。茶臼山高原へのサイクリングを推している。HPに地図を掲載。山村留学にも力を入れている。

経ヶ岳(2296m)でトレラン大会を新設
15位
南箕輪村 (長野県) 開
人口: 15,058人 平均気温: 11.3度C
町の動植物: アカマツ
伊那市の北隣にあり、人口が増加傾向にある。来たる5月23日にトレラン大会「経ヶ岳パーティカルリミット」を初開催。

東京の村人になる！
檜原村 (東京都) 開
人口: 1,000人 平均気温: 11.4度C
町の動植物: カワセミ
島をのぞいた東京唯一の村。都民としてのサービスが受けられるし、「東京の村人です」と胸を張れる。奥多摩のトレッキングやサイクリングの人気も高く、福祉も充実している。

房総半島の先端、**3位**
「南総里見八犬伝」の舞台
館山市 (千葉県) 開
人口: 47,355人 平均気温: 15.9度C
町の動植物: ツバキ
戦国武将里見氏の本拠地で、今も町のシンボルとして城跡が残る。気候は温暖で、1月から花が咲き乱れる。東京から特急で約2時間。移住者に向けた住宅リフォーム補助金もあり。

高齢化率日本一だけれど、なんだか元気
2位
南牧村 (群馬県) 開
人口: 2,425人 平均気温: 12.0度C
町の動植物: スズキ
高齢化率日本一で、消費可能性都市のトップにランクされたが、村に暗さはなく活気がある。空き家バンク制度に加え、若い世代向けの古民家も用意。南牧川ではヤマメやアユが釣れる。

笠間焼とみかげ石で有名
10位
笠間市 (茨城県) 開
人口: 77,058人 平均気温: 13.3度C
町の動植物: キク
水戸市の西隣。八溝山地からゆるやかな丘陵地帯が広がり、農業が盛ん。笠間焼とみかげ石の産地として知られる。

人気の町ランキングの1位常連
11位
吉祥寺 (武蔵野市) (東京都) 開
人口: 142,899人 平均気温: 15.5度C
町の動植物: ムラサキ
東京きっての人気タウン。井の頭公園、善福寺公園、小金井公園に囲まれ、中央線で高尾や山梨の山へのアクセスもよい。

都心への通勤可能なサーファーの町
12位
一宮町 (千葉県) 開
人口: 12,439人 平均気温: 15.3度C
町の動植物: クロマツ
九十九里浜に面す。東京から多くのサーファーが移住していることで有名。東京から特急で1時間、都心への通勤者も多い。

発酵食品作りと有機農業が盛ん
13位
神崎町 (千葉県) 開
人口: 6,354人 平均気温: 14.1度C
町の動植物: クスノキ
利根川のほとり。水運で栄えた名産で、今も酒、味噌、醤油を作る蔵がある。不耕起栽培の先進地であり、有機農業も盛ん。

山と川のあるベッドタウン
14位
飯能市 (埼玉県) 開
人口: 80,674人 平均気温: 13.1度C
町の動植物: ツツジ
池袋から急行で50分。山や川が近い。「都市と山間地の境目なので自然との距離感がほどよく、都内へ通勤可能」(移住者)

ご存じ世界遺産の町
4位
日光市 (栃木県) 開
人口: 86,770人 平均気温: 11.4度C
町の動植物: カワセミ
2006年に合併し、鬼怒川、湯西川を含む広大な市域となった。皇海山から荒海山に至る広大な山地を擁し、遊びはいろいろ。

織物で栄えた風情ある町
5位
桐生市 (群馬県) 開
人口: 117,912人 平均気温: 14.3度C
町の動植物: ミヅセイ
市街を渡良瀬川が流れる。織物の町として栄え、今も古い建物が残る美しい町。2013年にメガソーラー発電所が完成。

美しい海と里山。**1位**
温暖な気候も人気
鴨川市 (千葉県) 開
人口: 33,994人 平均気温: 15.7度C
町の動植物: タイ
黒潮の影響で一年を通して気温差が小さく過ごしやすい。海と里山ののどかな景色と、東京から特急で約2時間というアクセスのよさも魅力。移住支援にも熱心。空き家見学会などを実施。

九十九里浜に面した植木の町
7位
匝瑳市 (千葉県) 開
人口: 38,571人 平均気温: 15.4度C
町の動植物: イヌマキ
北部は里山、南部は平野で九十九里浜に面す。植木の産地として有名。東京から特急で1時間半。成田空港まで車で30分。

海も山もあり、外国の香りもする
9位
横須賀市 (神奈川県) 開
人口: 404,423人 平均気温: 15.8度C
町の動植物: ハマユウ
三浦半島の中心都市。海も山も充実。横浜まで電車で約30分。東京まで約1時間20分。幕末の開国の舞台であり、史跡豊富。

山と川のあるベッドタウン
14位
飯能市 (埼玉県) 開
人口: 80,674人 平均気温: 13.1度C
町の動植物: ツツジ
池袋から急行で50分。山や川が近い。「都市と山間地の境目なので自然との距離感がほどよく、都内へ通勤可能」(移住者)

第4位 若者が集まる
隠岐諸島の注目の島
海士町 (島根県) 🌿
人口: 2,374人 平均気温: 14.6度C
町の動植物: シバキ
隠岐諸島の中ノ島という離島ながら、若い移住者が集まる。山がちな地形で、天川の水という名水があり、水にも恵まれる。

第5位 宮本武蔵を育んだ
のどかな里山
美作市 (岡山県) 🌿
人口: 34,098人 平均気温: 13.7度C
町の動植物: カタクリ
吉井川の支流吉野川の上中流に位置。宮本武蔵は市内の宮本集落出身。女子サッカーの強豪・岡山湯郷ベルの本拠地でもある。

第6位 情緒ある
白壁土蔵の町並み
倉吉市 (鳥取県) 🏠
人口: 49,082人 平均気温: 14.6度C
町の動植物: シシコ
大山の東麓。街には江戸末期からの古い建物が残る。お試し移住用住宅も用意するなど、支援も充実。名湯関金温泉も市内。

鳥取県唯一の村
日吉津村 (鳥取県) 🌿
王子製紙の工場があり、鳥取県唯一の村なのにイオンモールなどの商業施設が充実。利便性重視の移住者には最適な村だ。大山にも近く、海浜公園もあってアウトドアも楽しめる。

第2位 雲海に浮かぶ城、日本のマチュピチュ
朝来市 (兵庫県) 🌿
人口: 32,131人 平均気温: 13.7度C
町の動植物: ケヤキ
雲海に浮かぶ姿が有名な竹田城跡は「日本のマチュピチュ」と呼ばれ、町のシンボル。空き家修繕補助金など移住支援も充実。空き家バンクは、1軒1軒の情報も豊富でわかりやすい。

第4位 移住ウェルカムな
恐竜の町
丹波市 (兵庫県) 🏠
人口: 67,248人 平均気温: 14.2度C
町の動植物: カタクリ
南部の山南地区では恐竜化石が発見され、「丹波竜」と命名された。ワンストップ相談窓口と支援サイト「丹波定住物語」も。

第5位 自然も文化も一級、
紀伊半島の人気町
那智勝浦町 (和歌山県) 🌿
人口: 16,450人 平均気温: 16.9度C
町の動植物: カシ
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の熊野エリアに該当。勝浦漁港は日本有数のマグロ基地で、朝市も開催。気候温暖。

第7位 温暖・少雨の
晴れの国
総社市 (岡山県) 🌞
人口: 67,820人 平均気温: 15.5度C
町の動植物: シンゴ
瀬戸内特有の温暖・少雨の恵まれた気候。市内を高梁川が南流。雪舟の出身地。「晴れの国。田舎具合がちょうどよい」(移住者)

第8位 石見銀山のお膝元
海も山も美しい
大田市 (島根県) 🌿
人口: 14,312人 平均気温: 15.1度C
町の動植物: ヒメマメ
世界遺産石見銀山のほか温泉・三瓶山など観光資源豊富。「海あり山ありの環境でアウトドアを気軽に楽しめる」(移住者)

町内見学はオーダーメイド
飯南町 (島根県) 🏠
人口: 5,208人 平均気温: 11.5度C
町の動植物: ポタン
平野部でも標高450m以上の山あいの町で、スキー場もある。定住促進協議会のプログラムでは、空き家や教育施設の見学など、移住希望者の要望に合わせて予定を組んでくれる。



橋でつながっていて交通の心配なし
周防大島町 (山口県) 🌿
人口: 18,334人 平均気温: 15.7度C
町の動植物: ミカン
瀬戸内海の島では3番目に大きい島。本土の柳井市とは橋でつながっている。民俗学者・宮本常一の故郷として知られる。移住受け入れに熱心で、お試し移住用住宅「島暮らし」を用意。



第9位 中国山地の小さな先進村
西粟倉村 (岡山県) 🌿
人口: 1,600人 平均気温: 13.7度C
町の動植物: ウグイス
「上質な田舎へ」を標榜し、HPもきわめてハイセンス。間伐材で雑貨を制作する「森の学校」が注目を集める。移住者多し。

第3位 町の全域に光ファイバー網
神石高原町 (広島県) 🌿
人口: 9,895人 平均気温: 11.2度C
町の動植物: ヒゴタイ
標高400~500mの高原地帯でありながら、全域に光ファイバー網を整備。専任の田舎暮らしアドバイザーもいて心強い。新築には町の木やマボウシを無償提供。北部に有名な藩政殿。



第10位 カブトガニのすむ海が広がる
笠岡市 (岡山県) 🌞
人口: 51,758人 平均気温: 15.5度C
町の動植物: シッコ
北部の里山と南部の港町、そして笠岡諸島の島嶼部からなる。天然記念物カブトガニ繁殖地として有名。移住支援も手厚い。

第11位 子育て目当ての
移住者も多い
智頭町 (鳥取県) 🌿
人口: 7,614人 平均気温: 12.9度C
町の動植物: ドングリノグサ
園児たちを育て遊ばせる「森のようちん」で園遊会を浴びる。住民のアイデアに予算をつける「百人委員会」の取り組みも。

第12位 小泉八雲が愛した
美しい城下町
松江市 (鳥取県) 🏠
人口: 152,616人 平均気温: 14.9度C
町の動植物: シシコ
宍道湖と中海に挟まれた水郷で、松江城下には歴史的な町並み。旧美保関町域の透明度の高い海も魅力。漁業の担い手支援あり。

第13位 出雲の南なので
雲南
雲南市 (島根県) 🏠
人口: 41,917人 平均気温: 13.1度C
町の動植物: サクラ
斐伊川沿いの中山間地。「雲南ブランド化プロジェクト」など地域活動が活発。移住支援サイト「ほっこり雲南」も情報充実。

第14位 町中に温泉が湧き、
自然も近い
鳥取市 (鳥取県) 🌿
人口: 192,800人 平均気温: 14.9度C
町の動植物: オオルリ
市街地に温泉が湧く世間知らぬ県庁所在地。長尾岬などでの海釣りも魅力。松葉カニなど海の幸もおいしい。移住支援も充実。

第15位 ホタル舞う里山。
空き家情報も充実
美咲町 (岡山県) 🏠
人口: 15,294人 平均気温: 13.7度C
町の動植物: シクラ
旭川と吉井川の上流の町。ホタル舞う里山や棚田、雲海など、日本の原風景といえる里山景観を誇る。空き家バンクの質量豊富。

第6位 大台ヶ原で
ヒルクライム大会
上北山村 (奈良県) 🌿
人口: 590人 平均気温: 13.2度C
町の動植物: シシコ
大峰山脈と大台ヶ原に挟まれた谷間の村。毎年ヒルクライム大会を開催。結婚定住奨励金と子供の誕生祝い金が支給される。

第7位 自然が豊かで、
京都市に通勤可能
南丹市 (京都府) 🌿
人口: 33,207人 平均気温: 13.9度C
町の動植物: オオルリ
京都市の北西。中心部の園部までは京都から快速で36分。北部の美山には、京都大学の芦生研究林など、深い山々が広がる。

第8位 八幡市駅前に
男山が横たわる
八幡市 (京都府) 🌿
人口: 72,992人 平均気温: 14.9度C
町の動植物: シシコ
木津川、宇治川、桂川が合流して淀川になる地点に位置。大阪のベッドタウンだが、岩清水八幡宮のある男山には自然が残る。

第9位 琵琶湖にのぞむ
宿場町
草津市 (滋賀県) 🏠
人口: 128,833人 平均気温: 14.9度C
町の動植物: オオバコ
新快速の停車駅となり、京都まで約20分。人気が高まりそう。旧東海道宿場町で、古い建物が残る。北西で琵琶湖に面す。

※データの見方: 人口=各市町村発表の最新値。平均気温=気象庁による1981~2010年の計測値。該当市町村に気象庁の観測地がない場合は最寄りの観測地の値。町の動植物=各市町村が定める地域のシンボルの生き物。

中国
【15市町村】



近畿
【9市町村】

第3位 移住支援充実、地域活性にも力を注ぐ
綾部市 (東郷郡) 🏠
人口: 33,771人 平均気温: 15.9度C
町の動植物: イカル
日本海に注ぐ由良川の中流。郡是製紙(現ダネセ)の創業地で、現在も記念館が建つ。「水源の里条例」を制定し、各集落の活性化に熱心。支援サイト「綾部に暮らす」は情報豊富で役立つ。



第1位 移住支援の手厚いフルーツ王国
かつらぎ町 (和歌山県) 🌿
人口: 17,899人 平均気温: 14.6度C
町の動植物: キンモクセイ
紀ノ川の中流。丹生都比売神社など弘法大師ゆかりの史跡多数。カキの産地で、モモ、ナシ、ブドウ栽培も盛ん。移住相談のワンストップ窓口を設置。支援サイト「かつらぎ暮らし」も充実。



世界遺産に住む!?
十津川村 (奈良県) 🌿
面積が日本一。世界遺産の熊野古道や大峯奥駈道があり、環境保全にも力を入れている。山村の暮らしにどっぷり浸かりたい人には最適な村だ。源泉かけ流しの温泉も各所にある。



第4位 五島列島の福江島
五島市 (長崎県) 🌿
 人口: 39,117人 平均気温: 16.8度C
 町の動植物: アブツバ
 五島列島の南西半分。中心地の福江島には空港があり、福岡空港から40分。世界遺産候補のキリシタン教会と美しい海が魅力。

第5位 バリエーティブな移住支援策
豊後高田市 (大分県) 🏠
 人口: 23,444人 平均気温: 15.6度C
 町の動植物: アブツバ
 国東半島の北東部。昭和30年代の風情を残す商店街が有名。空き家見学会にレンタカー代を補助するなど、独自の支援策が多数。

第6位 川下りで有名な水郷
柳川市 (福岡県) 🌿
 人口: 69,084人 平均気温: 16.3度C
 町の動植物: アブツバ
 有明海に面し、掘割の川下りで有名な水郷。博多駅まで新幹線でわずか24分。賃料・光熱費無料で1か月体験移住ができる。

第7位 巨大なカルデラ内の都市
阿蘇市 (熊本県) 🌿
 人口: 27,723人 平均気温: 12.9度C
 町の動植物: アブツバ
 阿蘇山の巨大なカルデラ内の北部に位置する。サイクリングなど遊びはいろいろ。阿蘇神社や中通古墳群など文化財も豊富。

第8位 福岡市郊外の人気エリア
糸島市 (福岡県) 🌿
 人口: 99,877人 平均気温: 16.1度C
 町の動植物: アブツバ
 福岡市の西郊。サーフスポットがあるなど、自然が豊かながら、電車で40分乗れる博多駅。移住支援サイト「糸島生活」は必見。

第9位 九州最大の都市で交通の要
福岡市 (福岡県) 🏠
 人口: 1,523,537人 平均気温: 17.0度C
 町の動植物: アブツバ
 どこへでも出かけやすい。大都市なので就職の機会も多い。いったんここに住めば、九州での移住先を考えるのもアリ。

第10位 霧島山の麓の米どころ
えびの市 (宮崎県) 🌿
 人口: 19,707人 平均気温: 15.5度C
 町の動植物: アブツバ
 霧島山の北麓の盆地。米のおいしさには定評があり、かつては鳥津の殿様に献上されていた。狗留孫峠では溪流釣りが人気。

第11位 若者の転入・転職に補助金
松浦市 (長崎県) 🏠
 人口: 24,362人 平均気温: 16.1度C
 町の動植物: アブツバ
 水軍・松浦発祥の地として知られる。鳥居部も含め、海遊の天国。別荘地や土佐郡など歴史的景観にも恵まれる。

第12位 現代の「新しき村」は誕生するか?
木城町 (宮崎県) 🌿
 人口: 5,727人 平均気温: 17.0度C
 町の動植物: アブツバ
 小丸川の中流域。武者小路実篤が農業共同体「新しき村」を設立した地として知られる。転入奨励金を最大30万円支給。

第13位 海の秘境! トカラ列島の村
十島村 (鹿児島県) 🌿
 人口: 641人 平均気温: 18.9度C
 町の動植物: アカヒゲ
 7つの有人島からなり、中心は中之島。鹿児島から船で一晩かかり、なおかつ週2便。秘境感が受けて若者が移住している。

第14位 ツタヤの図書館が利用できるゾ
武雄市 (佐賀県) 🏠
 人口: 50,017人 平均気温: 15.7度C
 町の動植物: アブツバ
 武雄温泉と焼き物で有名な、低山と盆地の町。ツタヤと提携し、スタバを併設した図書館で観光を浴びた。定住促進窓口あり。

第15位 古墳だらけ! 古代人の都
西都市 (宮崎県) 🌿
 人口: 51,607人 平均気温: 17.0度C
 町の動植物: アブツバ
 日本最大の古墳群・西都原古墳群を擁す。家探しや仕事探しのために滞在する場合、農家民宿の宿泊代を1泊5000円補助。

第1位 移住者受け入れにとっても熱心
竹田市 (大分県) 🌿
 人口: 23,570人 平均気温: 14.5度C
 町の動植物: ミヤマキリシマ
 シンボルは名曲「荒城の月」のモデルとなった岡城跡。くじゅう連山と法華院温泉も市内。移住支援に熱心で、「集」という相談施設があり、東京オフィスも開設。「水がうまい」(移住者)。

シエルバ斎藤がおすすめする村
今帰仁村 (沖縄)
 沖縄本島の村はどれもおすすめだが、ひとつに絞るなら観光客はそれほど来なくて旅人がたくさん来る今帰仁村。世界遺産があって魅力的なゲストハウスもあり、若い移住者も多い。

旅人が滞在したくなる村
今帰仁村 (沖縄)
 沖縄本島の村はどれもおすすめだが、ひとつに絞るなら観光客はそれほど来なくて旅人がたくさん来る今帰仁村。世界遺産があって魅力的なゲストハウスもあり、若い移住者も多い。

沖繩
 【1市町村】
第3位 八重山諸島の中心都市
石垣市 (沖縄県) 🌿
 人口: 48,229人 平均気温: 24.3度C
 町の動植物: カンムリウツ
 空港も新設され、都市としての整備が進む。西表島など八重山の離島への玄関口でもある。美しいビーチだけでなく、沖縄県最高峰の茂登野岳など山もある。移住者は多く、人気は衰えない。

温暖多照の遊びの楽園
日南市 (宮崎県) 🌞
 人口: 57,990人 平均気温: 18.2度C
 町の動植物: カツオ
 平野部では日照時間が年2200時間超。江戸神宮や肥後下町など史跡も豊富。移住サイトも充実。「サーフィン目当てでしたが、シーカヤック、船・溪流釣りなどの遊びも」(移住者)。

温暖多照の遊びの楽園
日南市 (宮崎県) 🌞
 人口: 57,990人 平均気温: 18.2度C
 町の動植物: カツオ
 平野部では日照時間が年2200時間超。江戸神宮や肥後下町など史跡も豊富。移住サイトも充実。「サーフィン目当てでしたが、シーカヤック、船・溪流釣りなどの遊びも」(移住者)。

温暖多照の遊びの楽園
日南市 (宮崎県) 🌞
 人口: 57,990人 平均気温: 18.2度C
 町の動植物: カツオ
 平野部では日照時間が年2200時間超。江戸神宮や肥後下町など史跡も豊富。移住サイトも充実。「サーフィン目当てでしたが、シーカヤック、船・溪流釣りなどの遊びも」(移住者)。

太平洋に面した小さな町
宮野町 (高知県) 🌿
 人口: 2,841人 平均気温: 17.2度C
 町の動植物: マサトスキ
 清流奈半利川の河口右岸。温暖な気候を活かしてハウス栽培が盛ん。出産祝いや育児奨励金のほか、就職研修への支援あり。

ウミガメが産卵にくる海辺の町
牟婁町 (徳島県) 🌿
 人口: 4,543人 平均気温: 15.7度C
 町の動植物: ニギハクチハバ
 牟婁川沿いに開けた町。ウミガメが産卵に来る美しい浜を持つ。沖合に浮かぶ大島。津島は磯釣りの人気ポイント。

四万十川の支流、広見川沿い
竜井町 (愛媛県) 🌿
 人口: 11,025人 平均気温: 15.2度C
 町の動植物: アブツバ
 宇和島市の東、1000m以上の山々に囲まれた盆地。四万十川の支流・広見川が流れ、釣りや川遊びが楽しめる。キン肉が名物。

夕日美しい海辺の町
伊予市 (愛媛県) 🌿
 人口: 18,029人 平均気温: 16.5度C
 町の動植物: アブツバ
 松山市の南。日本一の夕日を謳う。双海地区では「まちづくり学校双海人」という団体が「いなこ子育て体験ツアー」を開催。

歴史も自然もある四国最大の都市
松山市 (愛媛県) 🏠
 人口: 515,342人 平均気温: 16.5度C
 町の動植物: アブツバ
 正岡子規を生んだ俳句の町。司馬遼太郎の『坂の上の雲』の舞台であり、ミュージアムも開館。町のシンボルは松山城と道後温泉。興居島や中島に渡船で渡れば、きれいな海で遊べる。

オリーブとそうめん醤油の島
小豆島 (香川県) 🌿
 人口: 23,988人(合計) 平均気温: 15.6度C
 町の動植物: アブツバ
 瀬戸内海で2番目に大きい島。高松、岡山、姫路、神戸から船便あり。温暖でオリーブ栽培が盛ん。そうめんと醤油も特産。

吉野川と剣山に抱かれた町
三好市 (徳島県) 🌿
 人口: 28,643人 平均気温: 14.1度C
 町の動植物: アブツバ
 吉野川の中流。ラフティングで有名。四国2位の高峰・剣山も市内。無線LAN設置場所が増加中。HPの地図で確認できる。

山も海も近い県庁所在地
高知市 (高知県) 🌿
 人口: 335,991人 平均気温: 17.0度C
 町の動植物: アブツバ
 旧鎌材、土佐山村地区は山深く、溪流釣りにもよい。長期滞在をしながら起業を学べる「土佐アカデミー」が注目を浴びている。

都市に近くて山が深い
佐那河内村 (徳島県)
 シェルバ斎藤がおすすめする村
 徳島市の通学圏、通勤圏でありながら、美しい川や棚田が広がる山村。冬に雪も積もる冷涼な気候は過ごしやすい。山に足を延ばせば徳島市内や吉野川一帯の絶景が広がる。

憧れの四方十川ライフを
四万十市 (高知県) 🌿
 人口: 35,933人 平均気温: 16.3度C
 町の動植物: アブツバ
 「土佐の小京都」と呼ばれる中村市と、自然豊かな山あいの西土佐村が合併。四万十川の河口～中流を占める。カヌーや釣りなど遊びはなんでも。移住の相談窓口があり、支援も手厚い。

清流・仁淀川の河口、果物と魚がうまい
土佐市 (高知県) 🌿
 人口: 28,100人 平均気温: 17.0度C
 町の動植物: ムクドリ
 仁淀川下流右岸の町。温暖で日照時間が長く、文旦やメロン、スイカの栽培が盛ん。宇佐漁港はカサゴやウルメで有名。土佐市が立つ。HPは空き家の位置が地図に表示され、見やすい。



田舎暮らしへの期待は時代によって変化する

戦後の田舎暮らしブームは、学生運動や反公害運動を経験した70年代のインテリ層から始まった。「沈黙の春」『複合汚染』(※)時代の彼らが目指したのは、薬剤や化学肥料を使わない農業と、産直提携による静かな社会革命だ。アウトドアライフが市民権を得た80年代に入ると、田舎暮らしは一気にカジュアル化。ログハウスと薪ストーブに象徴される、自己実現の場として田舎が注目されるように。バブル崩壊後の、失われた20年々の時代は、移住にさらなる要素が加わる。経済至上主義への不信感だ。



→空き家バンクのある自治体ならまず相談を。修繕が必要な物件も多いが、補助制度がある場合も。

地方定住を最も実現しやすいのは定年退職世代だ。子育てやローン返済が終わり、退職金や年金もある。だが、地方がいちばん来てほしいと願っているのは、じつは子供のいる世帯や若い夫婦。どこも学校統廃合という切実な問題を抱えており、まずは子供の将来性に投資をしたいと考えているのだ。

もちろんシニアにも門戸は開かれているが、別荘感覚の移住者はあまり歓迎されない。地域の暗黙知(ル

←家計を補完するのが自給スキルを磨けば販売(農家)の道も。自給野菜でカフェ経営という方法もある。



↑草刈り、道普請、消防団、祭り、会合などの共同活動には、率先して参加する。移住者が地域で信用を得ていくための基本だ。

新天地を選ぶときの7つの心得

ジンセイは第2コーナーから面白い!

高齢過疎化が深刻度を増している自治体が、未来の担い手となる定住希望者に熱い視線を送っている。地方創生を掲げる国も後押しすると言いつつ出た。でも、コトは家族の人生にも関わる。衝動は禁物だ。田舎暮らしを考えるときは、山に登るときのような周到な準備と、慎重なルート選びを。

その1 理想の移住成功者を探す

信頼される移住の先駆者がいる地域は、好意的に受け入れてくれることが多い。逆に離脱者の多い地域は移住希望者に対して冷淡。

その2 ひとつ目ぼれで決めない

移住は家族みんなの問題なので、ひとりで即断即決しない。何度も家族で通い、地域の良いところばかりでなく、課題も直視する。

その3 子供の教育方針を明確に

義務教育が終わると、とたんに家計へのしかかってくるのが教育費だ。教育方針についても、家族の間で早めに議論しておくこと。

その4 農業にこだわりすぎない

農業、ことに有機農業はリスクが高い。自分がしたいのは農業という仕事なのか、農的生活というライフスタイルなのかを峻別する。

その5 経済問題は自給でカバー

地方に移住すると、ほとんどの場合年収が下がる。そのかわり家賃などは安く、田畑があれば食料も自給できる。そこが田舎の豊かさ。

その6 職住隣接でなくてもいい

田舎では、現金収入を得るため車で1時間ほどかけ地方都市まで通勤している人も多い。田舎に「住む」ことが目的ならこれも選択肢。

その7 骨を埋める覚悟で移り住む

骨を埋める覚悟で来た人と、別荘感覚で住んでいる人とは地域の人の扱いがまるで違う。厳しくされても、認められた証と考えよう。

田舎の知恵に学び自給自足的な生活を送れば、経済社会に絡め取られないというシンプルなお考えで、70年代の帰農のようなイデオロギッシュなおいがしないのが特徴。「半農半X」のように、ひとつの仕事にこだわらなければ田舎はもっと暮らしやすくなるという提言も、流れを後押しした。地域起こし協力隊制度が定着した近年は「自分の力で地方を元気にしたい」と燃える若者たちも移住という選択に注目する。

地方が来てほしいのは子供のいる若い世帯 地方側の意識も変わってきている。以前は、よそ者に先祖代々の農地や愛着のある家を使われないと、貸し渋る人も多かった。だが、空き家の老朽化が進み荒れた山や田畑を通じて庭先までシカやイノシシが出てくるようになると、生え抜きだとかよそ者だといっている時代ではないことに気がついたのだ。 いわば両想いの時代に入ってきたわけだが、田舎と都会は基本的に異文化。互いを理解しあわないと幸福なマッチングにならない。

1ル)を学ぼうとせず、都会の感覚でものをいう人は「お客さん」と嫌われる。たとえば田舎では、人の家の庭先を近道として横切ることもあるが、プライバシー侵害だと腹を立ててロープを張ったところ、家主の耳に届いて契約更新をしてもらえなかった例も。 率先して地域に溶け込み、ときに現役時代のスキルや人脈も生かして地域の人と共に汗をかいてくれるシニアなら、もちろん歓迎だ。 田舎暮らしの「定義」を広げることも大切

移住を判断するときの最大の課題は仕事と収入だ。IT環境の発達でどこにいてもできる仕事も増えた。しかし、そうした働き方のできる人はまだ一部で、田舎には仕事が少ないのが現状。有機農業にこだわりすぎたりしても自らハードルを高めることになる。 住まいを地方都市に移し、平日はサラリーマンとして働いて、休日は自然度の高い郊外に借りた田畑で自給用の作物づくりを楽しむところから始めるのも、現実的な選択肢である。